

会 議 録

会議の名称	第9回特別支援ネットワーク協議会
事務局	小金井市福祉保健部障害福祉課
開催日時	平成24年7月26日(木) 午後3時から午後5時まで
開催場所	小金井市前原暫定集会施設 A会議室
出席者 (23名)	<p>委 員 佐久間育子(福祉保健部長) 深澤 義信(子ども家庭部長) 尾上 明彦(学校教育部長) 竹田 怜史(企画政策課長補佐) ※代理出席 堀池 浩二(障害福祉課長) 阿部 智美(健康課長) 佐藤ちづる(子育て支援課長補佐) ※代理出席 鈴木 遵矢(保育課長) 高橋 茂夫(児童青少年課長) 関 次郎(庶務課長) 前島 賢(学務課長) 神田 恭司(指導室長補佐) ※代理出席 井上 基志(生涯学習課長) 宗像隆一郎(市立小・中学校校長会代表) 坂口 昇平(小金井特別支援学校長) 渡邊 孝之(私立幼稚園協会代表) 鈴木 律子(民間保育園園長会代表) 斎藤 修(障害者就労支援センター所長) 村岡 輝一(障害者福祉センター所長) 高橋 智(東京学芸大学教授) 高橋 信子(公募市民) 小幡 美穂(公募市民)</p> <p>臨時委員 青木ゆかり(ピノキオ幼児園保護者) ※代理出席 事務局 藤井 知文(障害福祉係長) 高田 明良(相談支援係長) 北村奈美子(障害福祉係主任)</p>
傍聴の可否	㊦ ・ 一部不可 ・ 不可
傍聴者数	3人
傍聴不可等の理由等	なし
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 委嘱状の交付 2 あいさつ 3 委員紹介 4 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成24年度の特別支援等の取組について (2) 発達支援事業について(報告) (3) その他 5 事務連絡

主な発言
要旨

1 委嘱状の交付

平成24年4月1日付けで委嘱する委員11人に対して、机上配布により交付。

2 あいさつ（佐久間福祉保健部長）

平成24年度から本協議会の所管が学校教育部指導室から福祉保健部障害福祉課に変わったことの報告及び経緯の説明。

前回までの協議では、1つ目に保護者の中に自分達の問題と受け止められない人がいること、2つ目に就学前から就労への連続性が円滑ではないこと、3つ目に発達支援センターの設置が課題となっていた。本日、各課の取組及び発達支援事業の報告を行うので、新たな課題や前回までの課題についてご意見を頂きたい。

また今後、地域自立支援協議会と本協議会との関係性について明確にするとともに、それぞれの役割分担を整理する必要があるため、本協議会でご意見を頂きたい。

3 委員紹介

出席者の自己紹介による。

4 議題についての協議

(1) 平成24年度の特別支援等の取組について

各課から取組の概要について報告を行った。（資料3）

(2) 発達支援事業について（報告）

【議長：佐久間福祉保健部長】

この報告に関するご意見、ご要望については、別途意見交換会を行っているので、本日は情報提供という形で行いたい。

【鈴木保育課長】

小金井市の発達支援事業に係る基本理念（案）及び新たに整備する施設に係る基本的な計画（案）について説明。（資料6）

◇

【議長：佐久間】

それでは資料3に戻りまして、ご意見、ご質問等ございますか。

【高橋信子委員】

生涯学習課の放課後子ども教室を発達支援センターで行ってはどうか。例えば、図書館緑分室でも読み聞かせを行っている。

【井上生涯学習課長】

放課後子ども教室は学校区ごとに実行委員会を作り方針を決め、空き教室や校庭を使って行う事業である。その形態に参加していただくことは可能。

【高橋信子委員】

発達支援センターは、なるべくいろいろな子ども達が学べるよ

主な発言
要旨

う、間口を広く敷居を低くしたいという面がある。子どもの才能ある特性が伸ばせるよう、科学・児童文学など地域の有能な人材を活用できるように、発達支援センターにコーディネーターを置くとか。

【井上生涯学習課長】

実行委員会の中で相談していただくこと。放課後子ども教室の趣旨と違ってくるかと思う。

【議長：佐久間】

発達支援事業についてはどうやって連携をとっていくか検討していかなければならない。今のご意見は提案ということでのよろしいか。

【高橋信子委員】

意見交換会には生涯学習課が出ないので、この場で発言した。

【尾島委員】

学務課の特別支援学級生徒の位置確認システムは都立学校への貸与はできないのか。

【前島学務課長】

要綱に基づいて実施している。今すぐは難しいが要望があれば検討していく。

【小幡委員】

第一中学校に知的障害学級と自閉症・情緒障害学級の2つの特別支援学級（固定学級）を新たに新設することのことだが、保護者の中でも情緒障害固定級について浸透しておらず、どのようなものなのかという不安の声がある。高校は特別支援教育がほとんど進んでいないと聞いている。中学校の情緒障害固定級で恵まれた環境の中において、支援のない高校へ進むのは大丈夫か。

また、通級での現在の対応を保護者は支持している。環境の変化で通えなくなる子もいるため、緑中学校へ移れるか不安の声もある。

中学校3年間は社会に出て行くうえで大事な時期。通級と情緒障害固定級の入級の審査のシステムを流動的に行ってほしい。中学校入学後に相談する機関はどうなっているのか。

緑中に移るにあたって、一中の固定級に留まりたい子のための支援はあるか。

【前島学務課長】

従来だと通級で学習が困難になった場合、逆に状況が改善した場合は見学相談ということになる。専門的な知見を持った人を介して、学校同士の話し合いを十分行っていただく。

【小幡委員】

どんな人たちが関わるのか。

【前島学務課長】

学校で話がまとまってから情報がくることが多い。まれに教育委員会が入ることもある。

主な発言
要旨

【神田指導室長補佐】

自閉症・情緒障害学級が新たにできることによって、当然、重層的な支援ということになり、通常指導学級での支援、通級指導学級での支援、固定学級での支援という形になると整理している。

通級は8時間までという決まりがあるため、そこで十分支援し切れないということになれば固定級のほうがいだろうということになる。その子にとってより望ましい教育環境はどこかということ。今後、自閉症・情緒障害学級に通級指導学級の先生が関わることは当然あると考える。

【小幡委員】

通級の先生と固定級の先生が一緒になって連携していくべき。子どもを見る目は多ければ多いほうがいい。

特別支援教室というのは簡単にできるものではないのか。

【神田指導室長補佐】

明日の小金井教育プランに特別支援教室の確保が挙げられている。今年度は検討段階で、将来的には全ての学校に特別支援教室を設置していくというプランを立てている。東京都教育委員会の3次計画にもある。

特別支援教室というのは、子どもが在籍校から通級のある学校へと、学校間を移動するのではなく、普段会議室として使っているスペースを利用することで、教育の方が移動して支援が受けられるようなシステムに変えていこうというもの。教室としてできるかどうかはこれからの検討。

なお、小学校では学習指導員の配置も行っている。PTという支援体制もある。教室はないが、似たような形のものももう既にできていると考えてもいい。

【斎藤委員】

4者連絡会で大人の発達障害を話し合っていることについて、市としての今後の方向性を示してほしい。

【堀池障害福祉課長】

4者連絡会では実態の把握も兼ねている。市として、子どもの頃からの継続的な支援で就労に繋げていく方法や、大人になってから発達障害が判明した方も含めた支援を目指している。

【斎藤委員】

具体的な機関や施設を作るのか。

【堀池障害福祉課長】

決定事項ではないので言い難いが、必要性、重要性があれば検討していきたい。

【議長：佐久間】

一つの課に解決を迫るような要望は避けたいと思う。冒頭のあいさつの2つ目の課題にあたる。大きな課題の再確認としたい。今後、関係機関との話合いで一定報告できるようになれば、情報共有としてこの協議会に報告があるだろう。

<p>主な発言 要旨</p>	<p>【小幡委員】 大人になってから発達障害が判明した方の当事者の会は小金井市にないのか。コミュニケーションの練習をしながら、就労に向けて進んでいくような。自閉症協会いいところ探しの例。</p> <p>【議長：佐久間】 ご提案ということで、ありがとうございます。</p> <p>【高橋信子委員】 保護者が学ぶ機会がない。入園、入学、中学進学、高校受験進学等の節目でどういう将来の課題があるのか、いまどういう支援が必要かということ親が学べる機会がない。</p> <p>【高橋智委員】 とても重要なことである。学芸大と市と連携しているところもある。保護者の理解の度合が子どもの進路に大きな影響を与える。市の保護者講座だけでなく積極的に特別支援ネットワーク協議会主催でもやるべき。</p> <p>【議長：佐久間】 資料6の基本理念（案）の下の方の枠にもある。今後、具体的な連携のしかたを本協議会でも考えていくべきと思う。</p> <p>【村岡委員】 学務課の就学支援シートに期待している。 一昨日、北京の発達障害者と専門の教育機関の方が訪問された。国際ボランティア協会が招いたもので、音楽を通じてコミュニケーションができた。</p> <p>【前島学務課長】 就学支援シートは従来からあるもので、新たなものではないのでご理解を。</p> <p>【議長：佐久間】 今日はこれで終了いたします。ありがとうございました。</p> <p>5 事務連絡 次回の第10回特別支援ネットワーク協議会は秋の開催予定。時間は午後3時から5時。 なお、この後、発達支援意見交換会を萌え木ホールA会議室で行いますのでご参加ください。</p>
<p>提出資料</p>	<p>資料1 小金井市特別支援ネットワーク協議会委員名簿 資料2 第8回特別支援ネットワーク協議会会議録 資料3 平成24年度の特別支援等の取組について 資料4 小金井市特別支援ネットワーク協議会設置要綱 資料5 小金井市地域自立支援協議会設置要綱 資料6 小金井市の発達支援事業に係る基本理念（案）及び新たに整備する施設に係る基本的な計画（案）</p>